

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名： (1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し ③ 設計方法の見直し 】

洗掘防止マット厚さ軽減と大型化によりコスト縮減

工事名：山元海岸S4号突堤工事

概要：ヘッドランドの安定性を確保するためには基礎の洗掘防止対策が重要であり、海底の被覆工法としてアスファルトマットを用いた工法が広く採用されています。今回、民間の水理模型実験結果からマットの波に対する所要安定重量（厚さ）の軽減を図ることが可能となりました。また、併せてマットの重ね合わせによるロスを減らすため、マットを大型化しコストの縮減を図ります。

効果：マット厚の軽減と大型化により、設置枚数が減るため工期短縮が図られる。アスファルトマットに要する工事費を99百万円から69百万円に縮減。（縮減額 30百万円、縮減率 約6.7%）

